

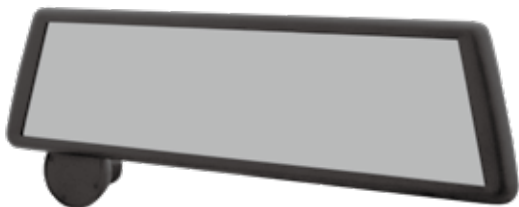
PIXYDA

PDR770SM

スマートレコーディングミラー

取扱説明書

USER MANUAL



クイックガイド

必ず 6 ページの「本製品を使用する前に」をよくお読みの上ご使用ください。

■ PC ビューワーのインストール

本製品に付属の microSD カードには PC ビューワーが保存されています。必ずパソコン等にコピーしてから使用してください。

コピーせずに microSD カードの初期化（フォーマット）をしてしまった場合でも、当社ホームページから PC ビューワーをダウンロードして、記録したファイルの再生が行えます。

■ 各部の名称



番号	項目	説明
①	タッチパネルスクリーン	フロントおよびリアカメラが映した映像や操作インターフェースを表示します。タッチパネルで操作できます。 カメラ映像を表示しないときは、通常のルームミラーとして使用できます。
②	電源ボタン	電源のオン / オフや、カメラ映像の表示 / 非表示を行ないます。
③	リセットボタン A (システム復旧用)	バージョンアップが不完全に終了した場合など、システムの復旧が必要な時に使用します。 詳しくは、ホームページをご覧ください。
④	フロントカメラ	車両前方の映像を記録します。
⑤	GPS 入力端子 (GPS)	GPS アンテナの端子を接続します。
⑥	microSD カードスロット (TF)	動画、静止画を保存するための microSD カードを挿入します。
⑦	リアカメラ入力端子 (AV IN)	リアカメラのケーブルを接続します。
⑧	電源端子 (USB)	電源ケーブルを接続します。
⑨	リセットボタン B (RESET)	本製品をリセットします。

■ 電源のオン / オフ

電源をオンにする

電源ケーブルを本製品の電源端子と車両のアクセサリソケットに接続し、エンジンを始動するかアクセサリ電源をオンにすると、本製品の電源が自動的にオンになります。

電源をオフにする

エンジンを停止するかアクセサリ電源をオフにすると表示される電源オフメニューで、「電源オフ」にタッチするか何もせずに 10 秒経過すると、本製品の電源がオフになります。

 **注意** 電源ボタンによる操作は、「5. 電源のオン / オフ」を参照してください。

■ 録画の開始

本製品の電源をオンにしてシステムが起動すると、自動的に録画が開始されます。


録画モード	動作説明	画面の表示
通常の録画モード	60 秒ごとに分割されたファイルに映像が記録されます。	画面上部に赤色の "●" が点灯し、現在のファイルの録画経過時間が表示されます。
衝撃検知モード	衝撃が検知されると、そのときの通常録画のファイル (60 秒) がロックファイル※として保存され、その後の 30 秒間は別のロックファイルとして保存されます。	・画面上部に赤色の "●" が点灯し、現在のファイルの録画経過時間が表示されます。 ・画面右下に "△" が点灯します。

※自動で上書きされないファイル

■ タッチパネルスクリーンの表示



本製品は画面にタッチすることで操作可能なタッチパネルスクリーンを備えています。本製品の操作は、画面にタッチして表示されるメニューリストから行います。

■ 画面表示の切り替え

画面の表示を、フロントカメラ映像 / リアカメラ映像に切り替えることができます。メニューリストから  アイコンにタッチして、フロント / リアを切り替えます。

■ 記録ファイルの再生

記録したファイルを画面上で確認できます。

1. メニューリストから  アイコンにタッチします。
2. 再生したいファイルを選択して、 アイコンにタッチします。

目次

クイックガイド	2
目次	4
1. 同梱品の確認	5
2. 本製品を使用する前に	6
3. microSD カードの取扱	9
4. 本製品の設置	10
5. 電源のオン/オフ	14
6. タッチパネルスクリーン	16
7. 映像の表示	17
8. 映像の記録	18
9. 記録ファイルの再生 / 削除	22
10. PCでの再生	24
11. 各種設定	28
12. トラブルシューティング	29
13. 仕様	31

1. 同梱品の確認

本製品の箱を開封した際に、同梱物がすべて揃っていることを確認してください。

■ 標準品



本体



電源ケーブル



GPS アンテナ



HD リアカメラ



リアカメラ取付ブラケット
(車内取付用)



両面テープ



microSD カード (16GB)
(PCビューワー入り)



取扱説明書



保証書

■ オプション品 (別売)



PDR002
常時接続ケーブル



PDR001
電源ケーブル (追加購入用)

2. 本製品を使用する前に

本製品の正しいご使用のため、以下の記載をお読みください。

■ 本製品について

- ・本製品は、自動車の運転中に映像を録画します。
- ・本製品は、事件や道路事故を調査するときの参考のためにのみ使用します。
- ・本製品は、すべての出来事を録画することを保証するものではありません。
- ・本製品は、事故の証拠として裁判などで効力を保証するものではありません。
- ・本製品は、衝撃が小さすぎて衝撃センサーを有効にできないような衝撃の小さい事故、または自動車のバッテリー電圧が無効になってしまうような衝撃の大きい事故を正しく録画することができない場合があります。
- ・映像の録画は、本製品が完全にオンになる（起動が完了する）までは開始しません。すべての自動車事故を確実に記録するには、電源をオンにした後、本製品が完全に起動するまで待ってから自動車の運転をはじめてください。
- ・当社は、事故を原因とするいかなる損害に対する責任や事故の結果に対してサポートを提供する責任を一切負いません。
- ・リモートドアロック装置の設置、ECU の設定または TPMS の設定などの自動車の設定または運転の状況によっては、本製品の一部の機能がサポートしていない場合があります。また、ファームウェアのバージョンによっては、本製品の性能や機能に影響を与えることがあります。
- ・地デジなどテレビアンテナの近くや、電装品の近くには設置しないでください。テレビの受信感度の低下やチラツキ、ノイズの原因になる可能性があります。
- ・LED 信号機は、映像がちらついたり、点滅しているような映像が記録される場合があります。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

■ 取扱説明書について

- ・当社のサービスポリシーが更新される際に、取扱説明書の情報も変更される場合があります。
- ・このユーザーガイドは PIXYDA PDR770SM モデルのみを対象としており、技術的なエラー、編集のエラー、情報の欠落が含まれる可能性があります。

■ 著作権

このガイドの内容に対するすべての権利は当社によって留保され、著作権法のもと、保護されています。当社の書面による同意なしに、このガイドを無断で複製、改訂、出版、配布することは禁止されており、刑事訴訟の対象となります。

■ 本ガイドの安全に関する記号

- △ - 危険 - 回避しなければ、けがや死亡の恐れのある危険があることを指します。
- △ - 警告 - 回避しなければ、軽傷や物的損害が生ずる恐れのある危険があることを指します。
- 🔗 - 注意 - ユーザーが本製品の機能を活用するのに役立つ有益な情報を提供します。

■ 適切に使用するための安全性に関する情報

1. 運転と製品の操作

- △ - 危険 -
 - ・ 自動車を運転中に本製品を操作しないでください。運転中に注意力が散漫になると事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。
 - ・ 運転手の視野を妨げない場所に本製品を設置してください。運転手の視野を妨げることは事故の原因となり、負傷や死亡につながる恐れがあります。本製品を取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。

2. 電源

- △ - 危険 -
 - ・ 濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。感電死の恐れがあります。
 - ・ 損傷した電源ケーブルを使用しないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。
 - ・ 電源ケーブルはあらゆる熱源から離しておいてください。電源ケーブルの断熱材が溶けて、電気火災や感電死につながる恐れがあります。
 - ・ 電源ケーブルと正しいコネクタを使用して、電源ケーブルを適切な場所にしっかりと接続してください。電気火災や感電死の恐れがあります。
 - ・ 電源ケーブルを改造したり、切断しないでください。また、電源ケーブルの上に重い物を置いたり、過度に力を入れて電源ケーブルを引っ張ったり、差し込んだり、曲げたりしないでください。電気火災や感電死の恐れがあります。

- △ - 警告 -
 - ・ 電源ケーブルを本製品に接続するときは、ケーブルのプラグと本製品の電源ケーブルコネクタをしっかりと接続してください。接続がゆるいと、自動車の振動により電源ケーブルが外れることがあります。
 - ・ 本製品は電源ケーブルまたは常時接続ケーブルのみを使用してください。他の電源を使用すると、本製品に深刻な損傷を与える恐れがあります。

3. 子どもやペット

- △ - 警告 - 本製品をお子さまやペットの手の届かない場所に設置してください。本製品が破損した場合、致命的な損傷になる恐れがあります。

■ 本製品に関するその他の情報

- △ - 警告 -
- ・本製品は、-10° C ~ 60° Cの温度で使用してください。指定温度の範囲外で使用した場合、本製品が設計通りに機能しなくなり、物理的損傷を受け続ける恐れがあります。こうした損傷は保証の範囲外です。
 - ・本製品の設置位置が適切かどうかを頻繁に確認してください。極端な道路状況によって生じた衝撃により設置位置がずれることがあります。本製品を本ガイドの通りの位置に設置してください。
 - ・本製品のボタンを押したりタッチパネルスクリーンに触れる際は、過度な力を加えないでください。ボタンやスクリーンが損傷する恐れがあります。
 - ・本製品の清掃に化学的な洗浄剤や溶剤を使用しないでください。本製品のプラスチック部品が損傷する恐れがあります。やわらかくてきれいな、乾燥した布材を使用して本製品を清掃してください。
 - ・本製品を分解したり、衝撃を与えたりしないでください。本製品が損傷する恐れがあります。許可なく本製品を分解した場合、本製品は保証の対象外になります。
 - ・お取り扱いにご注意ください。本製品を落としたり、誤った取り扱いをしたり、外的ショックを与えた場合、損傷または動作不良の恐れがあります。
 - ・本製品のスロット内に異物を入れないでください。
 - ・過度な湿度を避け、本製品に水が入らないようにしてください。湿度や水にさらされると、本製品内部の電子部品が故障する恐れがあります。
 - ・粉塵の多い状況では本製品を使用しないでください。カメラが正常に作動しない恐れがあります。

- ☒ - 注意 -
- ・車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが停止していても電力が本製品に供給され続ける場合があります。連続的に電力が供給されている12Vのバッテリーに本製品を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
 - ・本製品は自動車の運転中に映像を記録するように設計されています。映像の画質は昼夜、街灯の有無、トンネルへの出入り、および外気温などの気象および道路条件に影響されることがあります。
 - ・録画された映像が操作中に失われた場合には、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品は強い衝撃を伴う車の衝突に耐えられるように設計されていますが、事故により損傷した場合でも、当社は事故の録画を保証しません。
 - ・最適な画質を得るためフロントガラスとカメラレンズの汚れを落としてください。粒子や物質がカメラレンズやフロントガラスに付着していると録画された画像の質が悪くなる場合があります。
 - ・本製品は車内で使用することを目的としています。
 - ・LED 信号機は、映像がちらついたり、点滅しているような映像が記録される場合があります。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
 - ・GPS 信号が受信できない環境、またはGPS設定をオフにした場合、PCビューワーで記録された映像に軌跡の表示はされません。
 - ・トンネルや高層ビル街などGPS信号が正しく受信できない場所がありますので、予めご了承ください。

3.microSD カードの取扱

次の手順で本製品からの microSD カードの取り外し、または本製品への microSD カードの挿入を行ってください。

☞ -注意- 記録されたファイルを消失しないように、別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

■ microSD カードを取り外す

本製品の電源がオフになっていることを確認します。

カチッという音が聞こえるまで microSD カードを押し込むと、メモリカードが飛び出します。
カードを本製品から取り外してください。



⚠ -警告- microSD カードを取り外す前に、必ず本製品の電源をオフにしてください。本製品の電源がオンになっているときに microSD カードを取り外した場合、記録された映像のファイルが破損または消失することがあります。

■ microSD カードを挿入する

microSD カードのプリントラベル面が本製品の画面の方向になるように microSD カードを microSD カードスロットに挿入します。
カチッという音が聞こえるまで microSD カードを押し込んでください。



⚠ -警告-

- ・ microSD カードを正しい向きにして、本製品に差し込んでください。microSD カードが正しく差し込まれていない場合、microSD カードスロットや microSD カードが損傷することがあります。
- ・ 当社が認定した microSD カードのみを使用してください。当社は、他社製品の microSD カードの互換性や通常動作を保証しません。
- ・ Class 10 以上の microSD カードを使用してください。Class 10 以下の microSD カードでは正常に作動しない場合があります。また、microSD カードが高温になり大変危険です。Class 10 以外は使用しないでください。

■ microSD カードのフォーマット

microSD カードをフォーマットすることで、カード内のすべての記録を消去することができます。microSD カードのフォーマットについては、「11.各種設定」を参照してください。

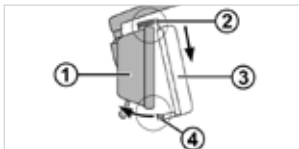
☞ -注意- ロックファイルがいっぱいになると録画が出来なくなりますので、定期的に microSD カードのフォーマットを行ってください。
必要なファイルはフォーマットをする前にバックアップを取ってください。

4. 本製品の設置

次の手順で本製品を正しく設置してください。

■ スマートレコーディングミラー本体の取り付け

1. 本体背面のカメラを下方に引き出します。
2. 車両の純正ミラー①の上部にスライドフック②を引っ掛け、そのまま本体③を下げながら固定フック④を純正ミラーの下部に取り付けます。
3. 純正ミラーと本製品をいっしょに持ち、後方が見えるように調整してください。



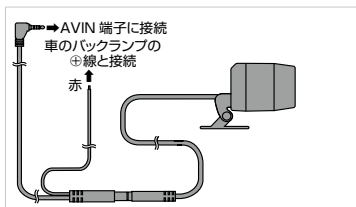
- △ - 警告 -
- ・本製品が既存ルームミラーにしっかり装着されているかご確認の上、走行してください。
 - ・走行中、運転者によるミラーの角度調整は大変危険ですので、絶対におやめください。
 - ・本製品は、既存ミラーとは距離感、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
 - ・本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障・破損の原因になります。

- ☒ - 注意 -
- ・取り付けの際は、純正ミラーに負荷が掛からないように、もう片方の手で押さえながら作業をしてください。
 - ・正面から見て、純正ミラーの中心になるように取り付けてください。
 - ・運転手の視界を妨げず、自動車の前方がすべて映像として記録できることを確認してください。
 - ・取り付け時や取り付け後など、本製品のミラー面及びフレーム（本体）を指等で強く押ししたり、乱暴に扱うなど、無理な力を加えないでください。
 - ・ミラーの角度調整を行う時は、本製品だけを持って行くと、外れる可能性があります。既存ミラーと一緒に持って調節してください。
 - ・コンパウンド入りのクリーナーでミラー面及びフレーム（本体）を拭かないでください。
 - ・紫外線の影響により、本体色が退色する場合があります。
 - ・エアバッグ装着車に取り付ける際は、一度お車の取扱説明書をご覧ください。
 - ・上記の警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用・分解・改造をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

■ リアカメラの取り付け

車両のバックランプ配線との接続（リバース連動）

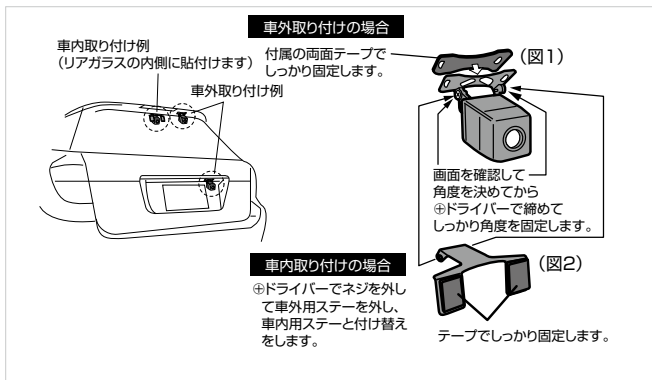
リバース連動（バック連動）でバックカメラとしても使用の場合は、車のバックランプの⊕線に〔赤：電源プラス線〕を接続してください。



カメラの取り付け

リアカメラは、取り付ける場所により使用するブラケットが異なります。

1. 設置位置を決めたら、乾いた布でリアウインドウの設置位置を拭きます。
2. ブラケットから保護フィルムをはがして、ブラケットを設置位置に押し付けます。
※ 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
※ 粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。
3. 画面の映像を確認しながら、リアカメラの角度を調整します。



- △ - 警告 -
- ・ブラケットにしっかりと固定されていない場合、リアカメラが運転中に落下したり損傷したりする可能性があります。
 - ・スモークガラス等により車内からの映像が見えにくい場合は、リアカメラを車外に取り付けてください。

- ☒ - 注意 -
- ・リアカメラの車外への取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください。
 - ・あらかじめカメラを仮接続し、カメラを取り付けたい場所にあてナンバー直下が見えることを確認のうえ、取り付け位置を決めてください。このときカメラが車両に当たらないことを確認してください。（一度、貼り付けると貼り直しができません）
 - ・カメラの取り付け向きは（図 1、2）のイラストの向きで固定してください、上下を間違えると画像が逆さまになります。
 - ・カメラがナンバープレートにかからないように取り付けてください。
 - ・バックドアやトランクの開閉時にコードが当たらないことを確認してください。
 - ・車内に取り付けの際は、リアガラスのアンテナ線に取り付け位置がかぶらないようにご注意ください、ラジオや TV のノイズの原因になります。
 - ・取り付け後、24 時間以内は水を当てないでください。
 - ・本製品の取り付け後、確実に取り付けられているか必ずご確認ください。

■ GPS アンテナの取り付け

GPS アンテナを車内に取り付ける場合は、ダッシュボード上などなるべく水平な場所に、GPS アンテナがウインドウの外を向くように取り付けます。



設置位置の例

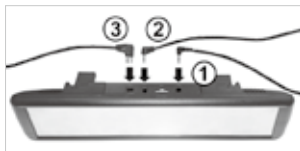
1. 設置位置を決めたら、乾いた布で設置面を拭きます。
2. GPS アンテナから保護フィルムをはがして、GPS アンテナを設置位置に押し付けます。

- ☞ - 注意 -
- ・ 10℃以下の低温時には粘着テープの接着力が十分に得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
 - ・ 粘着テープの貼り直しは粘着力が低下しますのでお避けください。
 - ・ GPS アンテナは、GPS 衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。
 - ・ GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
 - ・ GPS アンテナは、スマートレコーディングミラー本体から 30cm 以上離して設置してください。近くに設置すると受信感度が低下する場合があります。
 - ・ 車のウィンドウガラスには、GPS 衛星の電波を通さないものがあります。車内に取り付けた GPS アンテナが電波を受信しにくいときは、車外への取付けを試してください。

■ 電源ケーブルの接続

- ⚠ - 警告 - 車両への、リアカメラや常時接続ケーブル（オプション）の配線 / 取り付けは、必ず専門の熟練した技術者が行ってください。

1. エンジンとアクセサリ電源がオフになっていることを確認してください。
2. GPS アンテナ接続ケーブル①を GPS アンテナ入力端子に接続します。
3. リアカメラ接続ケーブル②をリアカメラ入力端子に接続します。
4. 電源ケーブル③を電源端子に接続します。



- ⚠ - 危険 -
- ・ 電源ケーブルは必ず同梱品を使用してください。同梱品以外の電源ケーブルを使用した場合は本製品が損傷し、電圧差による電気火災や感電死の恐れがあります。
 - ・ お客様自身で電源ケーブルを切断したり改造したりしないでください。本製品や自動車を損傷する恐れがあります。
 - ・ 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害したりすることがないようにケーブルを配線してください。

常時接続ケーブル（オプション）を使用すると、継続して駐車監視モードを作動させることができます。

駐車監視モードについては、「8. 映像の記録」を参照してください。

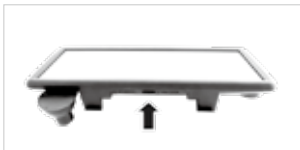
5. 電源のオン / オフ

電源をオンにして、本製品の使用を開始します。

■ 電源をオンにする

電源ケーブルを本製品の電源端子および車両のアクセサリソケットに接続し、エンジンを始動するかアクセサリ電源をオンにすると、本製品の電源が自動的にオンになります。

手動操作で電源をオフにしているときは、電源ボタンを約 4 秒押し続けて電源をオンにします。



☑ - 注意 - 電源をオンにしてからシステムが起動するまで約 7 秒かかります。運転を開始する際はご注意ください。また、GPS の受信はお使いの環境や時間帯により変化するため、受信状態をご確認ください。

■ 電源をオフにする

手動操作

電源ボタンを約 4 秒間押し続けたままにすると、電源がオフになります。

電源オフメニューからの操作

1. 本製品の電源がオンのときにエンジンを停止するか、アクセサリ電源をオフにすると、画面に電源オフメニューが表示されます。
2. "電源オフ" にタッチすると電源がオフになります。



☑ - 注意 - 電源オフメニューが表示されてから約 10 秒間操作をしないと、赤色に表示されている操作が実行されます。

■ カメラ映像を非表示にする

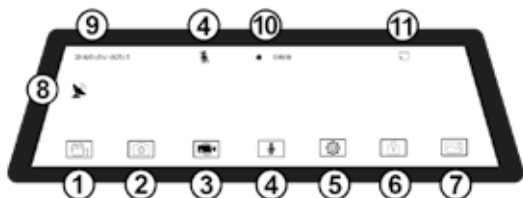
カメラ映像が表示されているときに、電源ボタンを短押しするか設定した時間が経過すると、カメラ映像が非表示になり、通常のルームミラーとして使用できます。再度、電源ボタンを押すかスクリーンにタッチすると、カメラ映像が表示されます。

- ☑ - 注意 -
- ・カメラ映像が非表示になるまでの時間は、工場出荷時は 15 秒に設定されています。時間設定の変更については、「11. 各種設定」を参照してください。
 - ・録画中にカメラ映像を非表示にしたときも、録画は継続されます。

6. タッチパネルスクリーン

本製品は、画面にタッチすることで操作可能なタッチパネルスクリーンを備えています。本製品の電源がオンのときに画面にタッチすると、約 7 秒間メニューリストが表示されます。本製品の操作はメニューリストから行います。

■ スクリーンの表示内容



番号	説明
①	動画の撮影を開始 / 停止します。アイコンがオレンジ色のときに撮影が行なわれます。リアカメラが接続されているときは、フロント / リアで同時撮影されます。
②	表示している画面の静止画を撮影します。リアカメラが接続されているときは、フロント / リアで同時撮影されます。
③	リアカメラが接続されているときは、アイコンをタッチするたびに、フロントカメラ映像 / リアカメラ映像に切り替わります。
④	音声の録音をオン / オフにします。オフのときは、画面上部に「🔊」が表示されます。※オフにしてもタッチ音は消音しません。
⑤	設定メニューを開きます。 ※撮影が行なわれているときは、設定メニューは開けません。
⑥	現在撮影している動画を、上書きされないロックファイルに手動で保存します。ロックファイルで撮影しているときは、画面右下に「🔒」が表示されます。
⑦	記録したファイルのファイル管理画面を開きます。 ※撮影が行なわれているときは、ファイル管理画面は開けません。
⑧	GPS の受信状態が表示されます。(受信：緑色 未受信：赤色) GPS アンテナが接続されていないときや位置情報がオフのときは表示されません。
⑨	現在時刻が表示されます。位置情報をオフにすると、手動で時刻を設定できます。
⑩	現在撮影しているファイルの録画経過時間が表示されます。
⑪	microSD カードの取り付けの有無が表示されます。 microSD カードが挿入されていないときは、アイコンに「×」が表示されます。

7. 映像の表示

■ 撮影範囲

本製品は、以下の視野までの撮影が可能です。

- ・フロントカメラ：水平 115° / 垂直 60.5°
- ・リアカメラ：/ 水平 120° / 垂直 65°

■ 表示される映像


走行中に表示されるカメラ映像は、自動的にリアカメラの映像に固定されます。


停車中は、フロントカメラの映像を画面に表示したり、撮影した動画を画面上で確認できます。

カメラ映像を表示していないときは、通常のルームミラーとして使用できます。

■ 表示モードを切り替える

停車中に、表示モードを切り替えることができます。

- ・スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。タッチするたびに、フロントカメラ映像 / リアカメラ映像が切り替わります。
- ・電源ボタンを短押しすると、カメラ映像が消えて通常のルームミラーとして使用できます。

-  **注意** ・リアカメラの映像は左右反転して表示されますが、記録したファイルを再生するときは、実際の向きに補正されます。
- ・画面の大部分に白色の映像を表示しているときは、補正機能が働いて画面が点滅することがありますが、異常ではありません。


■ リバースギア連動表示

車のギアをリバースに入れてバックランプが点灯すると、自動的にリアカメラの映像が表示されます。

※リバース表示には配線が必要です、配線を正しく取り付けしていないとガイドは表示されません。

リアカメラの映像には、車両周囲の距離感を把握するガイドが表示されます。ガイドが示す距離等については、設置作業員におたずねください。




-  **注意** ・ギアをリバースに入れてリアカメラの映像を自動的に表示したときに、通常より「ロー」設定にすると下方のを表示することができます。詳しくは「11. 各種設定」をご確認ください。

8. 映像の記録

■ 撮影データのファイル構成


本製品で撮影された動画 / 静止画データは、microSD カードに保存されます。動画データは、60 秒ごとに分割されたファイルとして保存され、microSD カードの容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

 **注意** 衝撃検知モードで撮影された映像やファイルロックモードで撮影した映像はロックファイルとして保存され、自動で上書きされません。そのため、ロックファイルが増えると、通常の録画で保存できるファイルの容量が減少します。必要に応じてロックファイルを削除してください。ファイルの削除については、「9. 記録ファイルの再生 / 削除」を参照してください。

■ 動画撮影の開始 / 停止


本製品の電源をオンにしてシステムが起動すると、自動的に録画が開始されます。画面の上部に "●" が点灯し、現在のファイルの録画経過時間が表示されます。

撮影の手動オン / オフ

スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンにタッチします。タッチするたびに、撮影のオン / オフが切り替わります。

 アイコンがオレンジ色に点灯しているときに撮影が行われます。

■ 静止画の撮影

スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、 アイコンにタッチします。表示中の映像が静止画で撮影されます。


録画中 / 録画停止中に問わず撮影できます。

■ ファイルロックモード


撮影した動画ファイルにロックをかけて、自動で上書きされないロックファイルとして保存できます。


ロックファイルは、2つのファイル（合計61秒～119秒）で保存されます。2つのファイルの撮影が終了すると、自動的に通常の録画モードに戻ります。

ファイルロックモードで撮影する

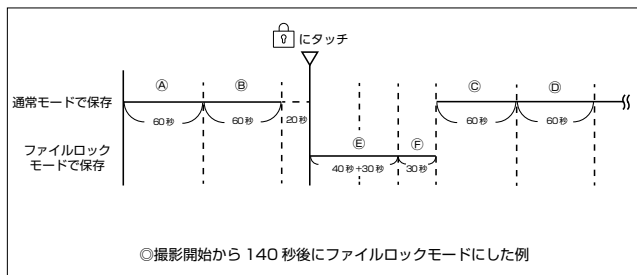
録画中にスクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。

アイコンがオレンジ色の表示に切り替わり、ファイルロックモードになります。

また、画面右下に""が点灯します。

手動でファイルロックモードを終了するときには、再度アイコンにタッチします。

ファイルロックモードで撮影すると、ファイルが以下のように保存されます。





通常のファイルで保存：A B C D

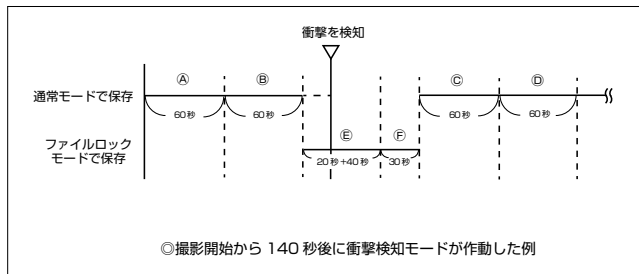
ロックファイルで保存：E F

■ 衝撃検知モード

映像を録画中に車両への衝撃を検知すると衝撃検知モードが作動し、検知した前後の60秒間とその後の30秒間が、2つのロックファイルで保存されます。

また、アイコンがオレンジ色の表示に切り替わり、画面右下に"△"が点灯します。作動終了後は、通常の録画モードに戻ります。

衝撃検知モードでは、ファイルが以下のように保存されます。



通常の方法で保存：A B C D

ロックファイルで保存：E F

■ 駐車監視モード

駐車監視モードは、エンジンを停止して画面が消えた後に衝撃を検知すると、検知してから 30 秒間の映像をロックファイルとして保存します。

☞・注意・ 駐車監視モードのご使用は、別売の「常時接続ケーブル (PDR002)」の取付けが必要です。

駐車監視モードを作動させる

1. 本製品の電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に電源オフメニューが表示されます。
2. 「駐車監視」にタッチすると、画面の表示が消えます。
数秒後に「ポッ」という作動音がして、駐車監視モードが作動します。
3. 駐車監視モードの作動中に衝撃を検知すると、検知後の 30 秒間の映像をロックファイルとして保存し、その後駐車監視モードに戻ります。



☞・注意・ ファイル管理画面のファイルオプションメニューで音量を消音にしているときは、駐車監視モードが作動するときに「ポッ」という作動音は聞こえません。ファイルオプションメニューについては、「9. 記録ファイルの再生 / 削除」を参照してください。

駐車監視モードからの復帰

エンジンを始動すると、PIXYDA ロゴから起動します。


駐車監視モードの作動中に保存された映像があるときは、画面に「イベント録画があります」と表示されます。

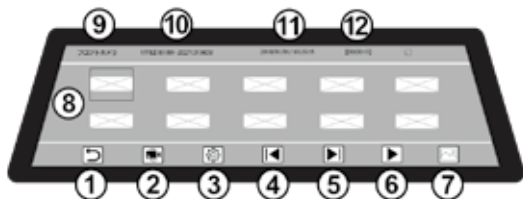
☞・注意・ 駐車監視中にバッテリー電圧が下がった場合は、バッテリー上がり防止の保護機能が働き、駐車監視モードを終了します。
・ 12V 車は 12.0V 以下で駐車監視モードを終了します。
・ 24V 車は 23.6V 以下で駐車監視モードを終了します。

9. 記録ファイルの再生 / 削除


記録したファイルを画面上で再生できます。
ファイル管理画面は撮影を停止しているときに表示できます。

■ ファイルの選択

1. スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。
ファイル管理画面が表示されます。
2. サムネイル画像にタッチしてファイルを選択し、再生します。



番号	説明
①	ファイル管理画面を終了します。
②	フロントカメラ / リアカメラ、または前方写真 / 後方写真を切り替えます。
③	ファイルオプションメニューを開きます。 音量の設定や、ファイルの削除 / 保護が行なえます。
④⑤	サムネイルページを切り替えます。
⑥	選択しているファイルを再生します。
⑦	動画 / 静止画を切り替えます。
⑧	記録したファイルのサムネイル画像が表示され、選択しているファイルに緑枠が表示されます。
⑨	表示しているファイル区分（フロントカメラ / リアカメラ / 前方写真 / 後方写真）が表示されます。
⑩	選択しているファイルのファイル名が表示されます。
⑪	選択しているファイルの撮影日時が表示されます。
⑫	選択しているファイルの再生時間が表示されます。

 **注意** - 上書きされないロックファイルで保存されたファイルは、サムネイル画像の左上に「△」が表示され、ファイル名の先頭が「EMER」になります。

■ ファイル再生画面



番号	説明
①	ファイルを再生 / 一時停止します。※動画ファイルのみ
②③	ファイルを早戻し / 早送りします。※動画ファイルのみ
④⑤	前 / 次のファイルに移動します。
⑥	ファイル管理画面に戻ります。
⑦	ファイル名が表示されます。※静止画ファイルは画面左上に表示
⑧	撮影日時が表示されます。※静止画ファイルは画面左上に表示
⑨	再生経過時間が表示されます。※動画ファイルのみ
⑩	再生時間が表示されます。※動画ファイルのみ

☞・注意・ 本製品の画面上で再生を行なうと、変形されたサイズの映像が表示されますが、PC上でファイルを再生すると正しく表示されます。

■ ファイルオプションメニュー

ファイル管理画面で、 アイコンにタッチします。

項目	説明
音量	操作音量や再生音量を調整します。
削除	選択したファイル削除します。
ビデオファイル / 画像ファイル	すべての動画（ビデオファイル）または静止画（画像ファイル）を削除します。
1つ保護	選択したファイルをロックして、上書きや削除をできなくします。保護されたファイルは、サムネイルの左上に "" が表示されます。
1つ保護解除	選択したファイルの保護を解除します。
	ファイル管理画面に戻ります。

☞・注意・
 ・一度に複数のファイルを選択して削除することはできません。
 ・保護されたファイルは、microSDカードのフォーマットを行なうとすべて削除されます。

10.PCでの再生

専用のビューワーを使用して、撮影したデータをPC上で再生できます。

■ 保存データのフォルダ構成

撮影したデータは、microSD カードの以下のフォルダに保存されます。
撮影したカメラにより、以下の各フォルダ内の「F（フロント）」または「R（リア）」のフォルダに保存されます。

フォルダ名	内容
Event	ロックファイルとして撮影した映像が保存されます。
Normal	通常モードで撮影したファイルが保存されます。
Photo	撮影した静止画が保存されます。

■ PCビューワーのシステム要件

PCビューワーを実行するためのシステム要件は以下の通りです。

- ・プロセッサ：Intel Core i5 以降
- ・メモリー：4GB 以上
- ・オペレーティングシステム：Windows 7 以降（64ビット推奨）
- ・その他：DirectX 9.0 以降 /Microsoft Explorer のバージョン 7.0 以降

☑・注意 このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、PCビューワーが正しく機能しません。
また、ビジネスモデルのノートブックなどで、上記の要件が満たされていても動作が行えない場合がございます。

■ PCビューワーのインストール

PCビューワーのインストールファイル（GvpSetup.msi）は、本製品と一緒に付属されている microSD カードのルートフォルダに保存されています。
手順に従って、PCビューワーをパソコンにインストールしてください。

1. アダプターを使用して、PC に microSD カードを挿入します。
2. インストールファイル「GvpSetup.msi」を起動し、インストール手順に従ってインストールを行います。インストールが完了すると、PC 内に「GVPlayer」フォルダが作成されます。
3. アプリケーション「GVPlayer.exe」を開いて、PCビューワーを表示します。

※最新のPCビューワーは下記のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr770sm/>

☞ - 注意 - microSD カード内に保存された PC ビューワーを削除した場合は、当社ホームページより PC ビューワーをダウンロードして、PC にインストールしてから本製品をご使用ください。

インストール手順

①



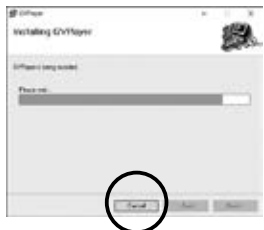
②



③



④



⑤



■ PCビューワーの表示内容



番号	説明
①	映像ファイルを読み込みます。 読み込まれたファイルは、リスト上に表示されます。 ファイルごと、またはフォルダごとを読み込むことができます。
②	プレビューウインドウに表示されている映像を画像データでPCに保存します。
③	ファイルをPCに保存します。
④	ファイルを削除します。
⑤	マップおよび言語の設定ができます。
⑥⑨	再生速度を0.3倍速～4倍速に設定できます。
⑦	再生を停止します。
⑧	再生します。
⑩	音量を調整します。
⑪	ファイルの連続再生を設定/解除します。 連続再生に設定すると、リスト上のファイルを自動的に再生します。
⑫	車の走行記録をPCに保存します。
⑬	マップウインドウを表示/非表示にします。

⑭	G センサーグラフを表示 / 非表示にします。
⑮	選択したファイルの上書き禁止を解除します。
⑯	リスト上のファイルの情報を表示します。
⑰	本製品が検知した衝撃を G センサーグラフで表示します。
⑱	リスト上で選択した映像をプレビューウインドウで表示します。
⑲	映像が記録されたときの位置情報を地図上に表示します。
⑳	映像が記録されたときの進行方向および走行速度が表示されます。


⑯～⑲の表示エリアは、PC 上でサイズを調整できます。


<p>☒・注意・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ GPS 信号が受信できない環境、または GPS 設定をオフにした場合、PC ビューワーで記録された映像に軌跡の表示はされません。 ・ 地図表示は Google マップを使用しているためインターネットへの接続環境が必要です。 ・ トンネルや高層ビル街など GPS 信号が正しく受信できない場所がありますので、予めご了承ください。 ・ PC ビューアーに記録された車速は参考値となります。走行中は必ず速度表示に従い、安全運転を行ってください。
--------------	--

11. 各種設定

本製品の各種設定を行ないます。撮影が停止しているときに操作できます。

■ 設定メニュー

スクリーンにタッチしてメニューリストを表示し、アイコンにタッチします。

項目	説明
ビープ	画面にタッチしたときの作動音のオン / オフを設定できます。
後部視角	車のギアをリバースに入れたときのリアカメラ映像を、ロー / ハイから選択できます。 「ロー」に設定したときは通常よりも下方の映像を表示し、後退時の視認性を高めます。
SDカード フォーマット	microSD カードに含まれるすべての映像ファイルを削除します。 ファイル管理画面のファイルオプションメニューから手動で保護を行なったファイルも削除されます。
振動検知	衝撃への感度を、ロー / ミドル / ハイから選択できます。 「ハイ」に設定すると、より小さな衝撃も検知するようになります。
位置情報	GPS の位置情報の受信をオン / オフできます。 ・「オフ」に設定すると、GPS の受信状態を示すアイコンは表示されません。 ・GPS 情報を受信しているときはアイコンが緑色に点灯し、受信していないときは赤色に点灯します。
設定 リセット	すべての設定を工場出荷時の状態にリセットします。
消灯設定	消灯設定を5秒 / 15秒 / 30秒 / 1分 / オフから選択できます。
時間設定	現在時刻の設定を行ないます。 位置情報をオンに設定しているときは、時刻がGPS情報に同期され、手動での設定はできません。
バージョン	本製品のバージョン情報が表示されます。
	ファイル管理画面に戻ります。

12. トラブルシューティング

以下の表には、本製品をご使用の際に発生する可能性のある問題とその対策が示されています。

症状が改善されない場合や、下記以外のトラブルが発生した場合には本誌裏面に記載のセイクお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

問題	原因と対応
・本製品の電源が入らない ・エンジンを停止したとき、または本製品が作動しているとき、すぐに電源がオフになってしまう	・アクセサリープラグとケーブルの断線などが無いかを確認してください。 ・本製品の電源端子が外れていませんか？接続を確認してください。 ・同梱の電源ケーブル以外を使用すると本体が不安定になるので使用しないでください。 ・オプション品の常時接続ケーブルが正しく接続されていないと、駐車監視モードが正常に起動できません。接続を確認してください。
異常動作	システムエラーの可能性がります。リセットボタンBを短押しし、本製品を再起動してください。
記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている	microSD カードが破損している可能性があります。新しいmicroSD カードに差し替えてください。上書き回数が数千回を超えると、記録できなくなる場合があります。
記録が出来ない	microSD カードが挿入されているか確認してください。
ファイルの読み込みがとても遅い	付属のmicroSD カードと同等のスペック (Class10) のSDカードをご使用ください。
再生の際、音が出ない	ファイル管理画面のファイルオプションメニューで音量が小さくなっていないか、または消音になっていないかを確認してください。
常時録画ができない	ロックされたファイルが溜まってしまい、常時録画を保存する容量が不足している可能性があります。不必要なファイルを削除してください。
microSDカードの容量が、すぐにいっぱいになってしまう	振動検知の感度が強すぎると、ちょっとした振動でファイルがロックされてしまう場合があります。そうすると、ロックされたファイルが溜まってしまい、容量が足りなくなってしまいます。設定メニューの振動検知の感度を調整してみてください。
タッチパネルが操作できない	システムエラーの可能性がります。リセットボタンBを短押しし、本製品を再起動してください。
液晶画面が表示しない	画面が非表示になっていませんか？画面をタッチするか、電源ボタンを短押ししてみてください。

問題	原因と対応
ビューワーソフトが PC にインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルのノートブックなどで、グラフィックボードのスペックが低いパソコンでは要件が満たされていても動作が行えない場合がございます。 ・PC のバージョンアップ等により、microSD 内の GVPlayer.exe ソフトが対応できていない可能性がございます、最新の PC ビューワーを下記のアドレスからダウンロードして試してみてください。 http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr770sm/
ビューワーソフトに地図が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の表示には Google マップを使用しているためインターネットへの接続環境が必要です。 ・GPS 信号が受信できない環境、または GPS 設定をオフにした場合、PC ビューワーで記録された映像に軌跡の表示はされません。
ビューワーソフトの地図がずれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・Google マップの変更等により地図の軌跡表示位置がずれる場合があります。その際は最新の PC ビューワーを下記のアドレスからダウンロードして再度試してください。 http://www.seiwa-c.co.jp/pixyda/pdr770sm/
画面に触れていないのに勝手に画面がスクロールする。	<ul style="list-style-type: none"> ・多極プラグから電源を取っていませんか？電源ノイズにより静電タッチパネルが誤動作することがございます。本体のリセットを行い、お車の電線ソケットに直接接続を行い、再度確認をお願い致します。 ・画面のフィルムを外してください。タッチ操作を正しく認識しない可能性があります。
画面がチカチカと点滅する	<p>カメラに取り込まれた映像の明るさと暗さのバランスを画像補正しているため、点滅しています。 カメラの角度を変えるか、映像が安定するのをお待ちください。</p>

※ Google マップは、Google LLC の商標または登録商標です。

13.仕様

本製品の仕様については、次の表を参照してください。

項目	仕様	
品番/モデル名	PDR770SM/ スマートレコーディングミラー	
記録媒体	microSD/SDHCカード (8G~128GB) 16GB Class10 同梱	
カメラ	映像素子	CMOSセンサー：1/2.9型 (フロント) 1/3.0型 (リア)
	視野角 (レンズ画角)	フロントカメラ：水平115° / 垂直60.5° リアカメラ：水平120° / 垂直65°
記録解像度	動画	フロントカメラ：1980×1080 (約207万画素) リアカメラ：1280×960 (約122万画素)
	静止画	約200万画素 (フロント) 約120万画素 (リア)
	有効画素数	約200万画素 (フロント) 約120万画素 (リア)
録画ファイル構成	1分	
最低被写体照度	約0.1ルクス	
画面サイズ	9.88インチタッチパネル液晶	
マイク	高感度マイク内蔵	
フレームレート	フロントカメラ：27.5fps/リアカメラ：25fps	
スピーカー	1W/8Ω 1個	
音声設定	設定可能	
GPS	搭載 (GPSアンテナ接続時)	
記録モード	常時録画	エンジン連動で自動的に記録を開始/終了 ON/OFF選択可能
	G (加速度) センサー記録	衝撃検知センサー感度 (1.75G) 駐車時ロー/ミドル/ハイ3段階選択可能
	ワンタッチ記録	静止画撮影
	駐車監視モード	Gセンサー連動録画 (30秒)
	※駐車監視/エコ監視モードのご使用には、別売の「常時接続ケーブル」が必要です。	
ファイル形式	動画拡張子：MOV	
	動画圧縮規格：H.264	
	静止画：JPEG	
映像外部入力	リアカメラ入力 (Φ2.5ミニジャック)	
記録映像再生方法	PC再生専用ビューワーソフト (Windows7/8/10)	
電源	電源ケーブル	電源ケーブル (約3.5m) 同梱
		ヒューズ容量：3A 常時接続ケーブル (オプション)
	対応車種	DC12V/24V
寸法	265.3 (W) × 75 (H) × 43.5 (D) mm (突起部除く)	
重量	約358g (本体)	
動作温度範囲	-10℃~+60℃	

本製品に関するお問い合わせは… ☎ 0570-039-710

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)

〒399-4603 長野県上伊那郡箕輪町三日町655

株式会社  <http://www.seiwa-c.co.jp>

〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地